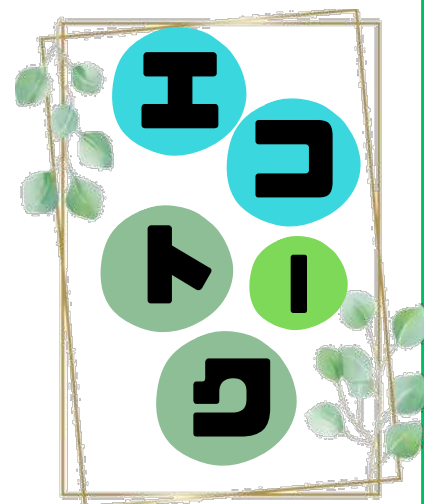


町 美 宇



(2023年広報9月号)



町にお住いの皆さんいかがお過ごしですか？本稿は8月上旬に書いていますが、今年の夏は猛暑日が何日あるのか心配です。毎年のように「平均気温が過去最高でした」と報道されても「ふくん」で済ませてはいけません。50年以上前になりますが「今日、東北の都市で日中の最高気温が40℃を超えました」と報道された日があり、社会科の先生が「体温よりもこんなに高いと非常に危険で、日中外にいるのはできるだけ控えな」と熱中症にかかるぞ」と話されていきました。

それから30数年間はその記録が破られることはなかったのですが、高知県でこの記録が更新されると、近年では40℃越えは珍しくなくなり、「40℃を何度超えるか」に関心は移っています。

通年で二十四節気の大暑(7月23日)から立秋(8月8日)までが1年で一番暑い時期とされていますが、暑い日は9月になっても続きます。天気予報の最高気温には十分注意してください。気象庁発表の最高気温は観測機器が収められている箱の中で記録されているもので、日中の日当たりのいい場所での記録ではありません。直射日光が当たる場所では普通3℃から4℃は高いと言われています。外出時は十分気をつけてください。

世界中の気象観測機関で、「地球温暖化の影響で気温が上がり続けている！」と警鐘が鳴らされているのに一向に下がる気配がないのは、「地球温暖化は他人事」と思っている人たちが多いままだからではないでしょうか？

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆